

臨時国会召集

岸田政権の政治姿勢を厳しく追及し、緊張感のある国会論戦を展開します!



参議院選挙後、初めての本格的な論戦の舞台となる臨時国会が10月3日よりやく始まりました。本来であれば、岸田政権は、憲法53条に基づく私たちの召集要求に応じて、もっと早く臨時国会を召集し、政治空白をつくることなく、物価高・円安に伴う緊急経済対策やコロナ問題など山積する課題に対応すべきでした。政府は、今月中に総合経済対策をとりまとめ、11月に第2次補正予算案を提出する予定ですが、対応が極めて遅く、国民生活の現状に対する危機感が感じられません。長期化するロシアによるウクライナ侵攻、北朝鮮による弾道ミサイル発射、中国による台湾への威嚇など外交・安全保障についての議論も喫緊の課題です。

岸田総理は、所信表明演説の中で「厳しい声にも、真摯に、謙虚に、丁寧に向き合っていく」と強調しましたが、国会での審議を軽視し、旧統一教会や安倍元総理の国葬問題などについて、国民への説明責任を果たさそうとしない政治姿勢は厳しく追及していかねばなりません。

私たち野党は、今国会に臨むにあたって、できる限り連携、協力していく方針を確認しました。私は、衆議院議院運営委員会の野党筆頭理事として国会運営についての責任者を務めています。自民党一強体制が続ぎ、与党が圧倒的な数を占める中、厳しい対応となりますが、徹底した国会論戦を通じて、岸田政権に対するチェック機能を果たし、国民の皆さんの期待に応えていくことができますように全力をあげてがんばってまいります。



笠ひろふみ

りゅう 衆議院議員 元文部科学副大臣





国会論戦

国会対応の先頭に立つ!

10月3日 臨時国会召集

冒頭に野党5党1会派が共同で、臨時国会の召集要求に対して、20日以内の召集を内閣に義務付ける国会法の改正案を提出



提出者を代表して記者会見



本会議前の代議士会で議事の日程や内容などについて説明

野党筆頭理事として今国会初めての衆議院議院運営委員会に臨む

りゅう 笠が議院運営委員会で取り組む課題!

- 安倍元総理の国葬について、最終的な費用や法的根拠、国会の関与の必要性などについて検証します。その上で、国葬を行なう場合のルールなどについても検討します。
- いわゆる文書通信交通滞在費について、用途の公表などを定めた法案の成立を目指します。
- 細田衆議院議長の旧統一教会との関係について説明責任を果たすように求めてまいります。

議員外交

安倍元総理の国葬に参列するために来日した要人と友好議員連盟の副会長として会談しました。



ルーマニアのチウカ首相、チョラク下院議長



マルタ共和国のボージュ外務・欧州・貿易相

来年4月の統一地方選挙に向けて、立憲民主党の候補予定者を決定しました!!

多摩区



青山圭一 しまだ和明 田倉俊輔

神奈川県議会議員3期

新人

新人

麻生区



あまがさ裕治 こばりか子 鈴木朋子

川崎市議会議員9期

川崎市議会議員3期

川崎市議会議員1期